

東杜シーテック株式会社



住所：仙台市宮城野区銀杏町31-24

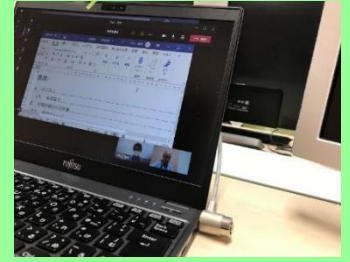
TEL： 022-354-1230

E-mail： business@tctec.co.jp

URL： http://www.tctec.co.jp

資本金： 21,000千円 / 従業員数： 112名

事業内容： AIや可視画像、超音波画像を活用した画像処理装置開発
半導体製造装置向けの組み込みソフトウェア開発
車載向け組み込みソフトウェア開発



取組みの概要

- テレワークへの取り組み
 - ・MicrosoftOffice365を活用し、Word、ExcelだけでなくTeamsによるweb会議の活用
 - ・VPNを活用した社内サーバーへのアクセス許可により、社外から開発環境へのアクセスを活用
- 人材教育
 - ・遠隔教育として、組み込み産業振興機構が主催する組み込み適塾を受講

テレワーク導入状況

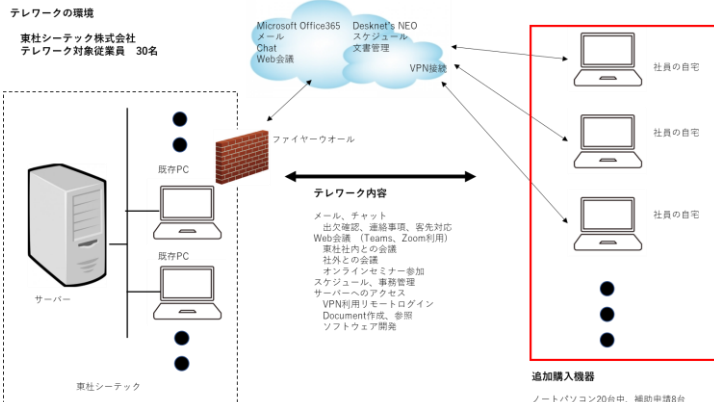
- ・**テレワーク実施人数** ①R2.12月現在実施人数：5名（社員の約0.5割） ②最大実施人数（R2.6月～9月）：50名（社員の約5割）
③新型コロナウイルス感染症前の実施人数：0名
 - ・**導入部署（最大導入時）**：5部署（テクニカルセクション2、同3、同4、Fish&Robo Base、サポートカプセル）
 - ・**システム方式**
 - リモートデスクトップ方式 □仮想デスクトップ方式 ■クラウド型アプリ方式 ■安全ファイル持出方式
 - ファイル持出方式（ネットドライブやVPN経由持出） □その他（ ）
- ※参考資料：（一社）日本テレワーク協会「テレワーク関連ツール一覧第5版」（PDFファイル：1.40MB）

テレワーク導入時の課題と解決方法

- ・社外ではメール程度しか使っていなかった。（Skype、Linkの利用は稀であった） → Teams、Zoomの活用。Office365の有効利用
- ・社内サーバーへのアクセスは限定した社員だけが許可されていた → 認証システムを使ったVPNの活用
- ・Face-to-Faceの面談が常識であった → 双方にリモートでの会議を受け入れる機運の高まり

これらをリモートでも問題なく利用できる環境を整えた。

活用した機器・ツール・ソフト等



実施した効果及び課題

○テレワーク

【効果】

- ・在宅勤務により感染のリスクを減らせた。
- ・分散したオフィスの情報交換を改善することができた。
- ・移動時間の削減、出張旅費の削減につながった。
- ・子育て世代では時間の活用幅が広がった。

【課題（解決方法）】

- ・印を押す書類があるときは出社の必要がある。
→電子印、電子証明の導入などを検討する。
- ・一度、面談したことがある相手の場合はweb会議の効果も高いが、初対面の会社や担当者とは会話が成り立ちにくい。
→メールなどで事前の資料配布や要点の整理などを行う。
→Small Talkの活用。
- ・1対1の会話はしやすいと感じるが、アイデア会議などは不向きと思われる。
→会話に入るタイミングを強制するなど機会を割り当てる。
- ・情報管理が各個人に一任されているため、セキュリティー教育や行動基準、PCの紛失対策などのルールをテレワークに即したものに更新が必要。
→規定の整備

○オンライン研修

【効果】

- ・ソフトウェア開発の基礎を受講生のレベルに合わせて幅広く学べる。
- ・半日～2日間などの時間ボリュームで、通常業務に影響が少ない。
- ・遠隔で受講できる。

【課題】

- ・実習などの講義は少しやりにくい可能性がある。

経営者のコメント

【テレワークを始める前の考えなど】

パッチ的に拡張していた社内システムをどうにかしようと考え2年前から更新の投資を行っていた。無駄なライセンスも多々あったのでOffice365に統一を図っていた所だった。TeamsやZoomをそれほど使うとは思っていなかった。

【テレワーク実施後の感想など】

- ・クラウド環境が思った以上に効果的に使えた。
- ・今まで常識と思っていた出張も移動時間が節約でき、業務効率は以前より上がっている可能性がある。
- ・当然、コロナ感染のリスク低減にもつながっている。

【テレワークを導入する際のコツ、ポイント等】

- ・ネットワーク構成などは日頃から考えておく。
- ・ZoomやTeamsだけでも始めてみる。

社員のコメント

- ・テレワークは通勤時間の節約など時間の有効利用ができた。・PC上で行う仕事が多く大きな違和感なく取り組めた。
- ・自宅での作業場所の確保に苦労した。・始業時間、終業時間の管理が自分でコントロールするため、余分なストレスを感じた。
- ・コメント機能を用いて講師の方へのリアクションや双方向のやり取りが可能だった。オンライン講義でも一方向にならず、非常に分かりやすかった。
- ・全体的に詳しく聞きたい部分がサラッと流される場面が結構あって残念だった。
- ・ペルソナを利用してユーザやゴールを指定して物事を考えるのは興味深かった。